

2019年度

**児童・少年の健全育成助成 生き生きシニア活動顕彰
助成・顕彰団体決定**

今年度は全国で259団体12,025万円の児童・少年の健全育成助成と
229団体1,145万円の生き生きシニア活動顕彰を実施します。
おかげさまで当財団は、今年度設立から40周年を迎えました。
財団設立からの累計(1979年~2019年)は、15,817団体・86億2千万円になります。

和歌山県では、児童・少年の健全育成助成

ガールスカウト和歌山県第4団 はじめ 6 団体が
決定いたしました。

生き生きシニア活動顕彰 6団体 が決定いたしました。

1979年の助成開始から41年の累計は

和歌山県内 297団体 1億4405万円 となりました。

2019年7月

公益財団法人 日本生命財団

この件に関するお問い合わせ先

〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7

日本生命財団 助成事業部

TEL: 06 (6204) 4014

FAX: 06 (6204) 0120

日本生命財団は、日本生命保険相互会社が創業90周年を迎えるに当たり、より継続的かつ普遍的な社会貢献を行うため1979年に設立された助成型財団で、今年度40周年の節目の年を迎えます。

以来「人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資すること」を目的として、児童・少年の健全な育成、高齢社会福祉、環境問題などの分野を中心に助成活動を行っております。

ホームページ <http://nihonseimei-zaidan.or.jp>

和歌山県への助成累計は297団体——1億 4405万円になりました

日本生命財団は、1979年の設立以来、児童・少年の健全育成に取り組んでいる団体に対して、活動に必要な物品を助成してまいりました。

児童・少年の健全育成助成
今年度は6団体に220万円を助成

また、元気で活力に満ちた高齢者が主体となって地域貢献活動を行う団体を顕彰しております。

生き生きシニア活動顕彰
今年度は6団体を顕彰

～助成・顕彰団体への目録贈呈式を全国の都道府県で開催～

目録贈呈式を次のとおり開催いたします。

日 時	7月12日（金） 午後1時30分～
場 所	和歌山県民文化会館 5階 大会議室
出席者	受贈者：12団体 和歌山県：環境生活部長 田中 一寿 様 財 団：日本生命和歌山支社長 松田 健太郎 助成事業部部長 北村 俊幸

2019年
ニッセイ財団
児童・少年の健全育成助成の概要

未来をになう子どもたちが、心ゆたかに成長することをめざして

日本生命財団は、1979年7月の設立以来、人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資することを目的として活動しております。

児童・少年の健全育成には、地域社会を構成する住民や諸組織が手を携え、地域活動の一環として、子どもたちの生きる力を育てていくことが必要です。

このような活動に定期的かつ日常的に継続して取り組んでいる民間の団体・グループに対して、その活動に常時・直接必要な物品を助成しております。

おかげさまで財団設立以来41年継続して、全国1万3千を超える団体に助成

児童・少年の健全育成助成は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。

助成金額は、1団体30万円～60万円です。

助成物品は、助成対象活動を継続的に展開するためにはなくてはならない直接活用物品で、子どもたちが待ち望み、子どもたち自らが主体的・継続的に共有して活用する物品としております。

- ◆2019年度は、全国各地の259団体に総額1億2,025万円の助成を行います。
- ◆財団設立から41年の累計実績は、1万3千団体・84億円を超えております。

子どもたちの生きる力を育むさまざまな活動を応援

次のような活動を行っている団体に助成いたします。

<2019年度助成259団体の内訳>

「異年齢・異世代交流活動」	143団体
「自然と親しむ活動」	66団体
「子育て支援活動」	35団体
「療育支援活動」	12団体
「フリースクール活動」	3団体

情報誌「F u - m i」の発行

当助成が多くの方々のお役に立つことを願い、助成制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容および助成物品の活用事例などをご紹介します情報誌「F u - m i」を発行しています。

*当財団のホームページでPDF版をご覧ください。

2019年度
ニッセイ財団
生き生きシニア活動顕彰の概要

元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動に対して

わが国は少子高齢社会を迎えており、元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動が注目されております。
日本生命財団では、高齢者が主体となって行う地域貢献活動を顕彰し、地域活動の輪を広げてまいります。

2007年の制度発足からこれまでに2,387団体を顕彰

生き生きシニア活動顕彰は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。
児童・少年の健全育成活動、地域づくり活動、高齢者支援活動、障がい者支援活動などの高齢者による“生き生きシニア活動”に取り組む民間の団体・グループに対して、1団体5万円の顕彰を行います。

- ◆2019年度は、全国各地の229団体に1,145万円の顕彰を行います。
- ◆2007年の制度発足からの累計実績は、2,387団体・11,935万円となっております。

さまざまな“生き生きシニア活動”を応援

次のような活動を行っている団体を顕彰いたします。

<2019年度顕彰229団体の内訳>

「地域づくり活動」	83団体（環境保護活動、健康増進活動等）
「高齢者支援活動」	77団体（高齢者向けサロン、訪問ボランティア等）
「児童・少年の健全育成活動」	63団体（登下校時見守り活動、伝承芸能の継承等）
「青少年自立支援・障がい者支援活動」	6団体

情報誌「F u - m i」の発行

当顕彰が多くの方々のお役に立つことを願い、顕彰制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容などをご紹介します情報誌「F u - m i」を発行しています。

*当財団のホームページでPDF版をご覧ください。

以 上

2019年度 ニッセイ財団 児童・少年の健全育成助成 決定団体一覧

30 和歌山県

コード	団体名 活動の内容	助成内容	助成額 (千円)
3001	ガールスカウト和歌山県第4団 I-1 野外活動・自然体験活動等を通しての児童の健全育成	キャンプ用テント・用具一式	450
3002	ボーイスカウト和歌山連盟 那賀第4団 I-1 野外活動・自然体験活動等を通しての児童の健全育成	キャンプ用テント・用具一式	450
3003	三石ベアーズ II-13 地域に根ざしたスポーツ活動を通しての児童の健全育成	野球用具一式	300
3004	有田市空手道スポーツ少年団 II-12 剣道・柔道等を通しての児童の健全育成	空手道競技用フロアマット	400
3005	STARS II-13 地域に根ざしたスポーツ活動を通しての児童の健全育成	バレーボール用具一式	300
3006	親子ふれあい教室 Snow Mom III-16 子育てサークル・子育て支援ネットワーク	子ども用遊具・絵本等	300

合計 助成件数 6 件 助成決定額合計 2200 千円

2019年度 ニッセイ財団 生き生きシニア活動顕彰 決定団体一覧

30 和歌山県

コード	団体名 活動の内容	顕彰内容	顕彰額 (千円)
3051	仁寿会 I-1 登下校時の見守り活動	活動顕彰	50
3052	わかやま楽落会 I-3 伝承芸能の継承	活動顕彰	50
3053	ボランティアアフラサークル マカナ・アロハ III-2 訪問ボランティア	活動顕彰	50
3054	なかよし会 III-2 訪問ボランティア	活動顕彰	50
3055	話し相手ボランティア さわやか III-2 訪問ボランティア	活動顕彰	50
3056	平井喜楽クラブ IV-3 環境保全・グリーンツーリズム活動	活動顕彰	50

合計 助成件数 6 件 助成決定額合計 300 千円